

## 農業土木工事関係書類減量化の勉強会を開催しました

令和4年11月16日(水)「農業土木工事関係書類減量化の勉強会」を根室振興局別海監督員詰所で開催し、今年度発注済み工事の現場代理人と農村振興課から16名が参加しました。

この勉強会は、道農政部で全道的に取り組んでいる「業務改善プログラム」の一環として、令和6年度から建設業で適用される長時間労働の是正、時間外労働の罰則規定を視野に、工事書類の減量化や簡素化を目的としています。

受発注者のメリット・デメリットを忌憚なく話し合うことで、より良い農業農村整備事業の推進に向けた取組の一助となればと考えました。



根室振興局と現場代理人の16名が参加

主な内容として、

### 工事監督員と現場代理人との事前協議による提出項目の明確化

慣例的に作成してきた書類を見直し、真に必要な書類のみを作成。実効性を確保するため「農業土木工事関係書類一覧表」を“チェックリスト”として最大限活用。

### 紙媒体と電子データの両方を提出する「二重納品」の防止

N4システムやメールなどのデータですでに監督員に提出済みの書類にあっては、別途、紙での提出やファイリングをしない様にするなど、電子・紙の両方での重複提出をしない。

### 工事関係書類（施工中の工事書類と、工事完成図書）の双方に、同じものを提出する「二重納品」の防止



過年度の成果品を参考に改善ポイントを意見交換

参加した現場代理人からは、「今後の働き方について、もっと勉強しなければならないと感じる良い機会だった」「書類の減量化・簡素化のためにも、これまで以上に工事監督員とのコミュニケーションが必要と感じた」など、多くの意見や感想をいただきました。

建設業では人口減少や技術者の高齢化等で、担い手の確保・育成が喫緊の課題です。今後も建設業が地域の守り手として役割を果たしていくためにも、発注者・受注者がともに知恵を出し合い、働き方改革に対応した業務改善などを、出来ることから取り入れ、引き続き、農村地域のインフラを守る農業農村整備を計画的・効果的に進めたいと考えています。